

平成 30 年度 周波数ひっ迫対策のための技術試験事務
成果報告書概要

案件名	1. 7GHz 帯等における携帯電話用周波数の確保のための技術的条件に関する調査検討
契約先	株式会社三菱総合研究所

1. 目的及び成果目標

本調査検討では、1. 7GHz 帯及び 2. 3GHz 帯の周波数帯を携帯電話用周波数として確保するため、公共業務用固定局と携帯電話システム (LTE-Advanced) の無線局間の干渉検討及び電界強度実測調査・解析等を実施するなどにより、公共業務用固定局と携帯電話システムの無線局が周波数を効率的に共用するために必要となる技術的条件を検討することを目的とする。

2. 試験実施概要

平成 29 年度に検討した干渉シミュレーションを踏まえ、平成 30 年度は、電波伝搬特性等の実測調査を実施し、干渉シミュレーション手法の検証評価を実施。また、周波数再編に必要となる電波伝搬測定を実施した。さらに、干渉シミュレーション手法の検証評価を参考に、学識経験者及び携帯電話事業者からなる調査検討会を開催し、携帯電話システムと公共業務用固定局等との間で周波数を効率的に共用するための手法、条件及びその際の課題について評価した。

3. 得られた成果

平成 28 年度から実施してきた移行先周波数 (4. 5GHz 帯) に対応した無線設備の特性データや実機による特殊な伝搬路での電波伝搬測定等により、新たな公共業務用固定局の置局、運用条件等を踏まえた、技術審査に資する技術基準案を取りまとめた。今後、その成果をもとに審査に必要な規定整備を進めていく予定。

また、2. 3GHz 帯での携帯電話システムと公共業務用固定局等との共用について、想定される共用手段をもとに、周波数利用効率、共用メリット、共用実現コスト、調整難易度及び技術的難易度の観点から相対比較を行い、実現に向けた条件、課題について評価を行った。今回の成果をもとに、情報通信審議会等今後の携帯電話システム導入に向けた検討に寄与させていく予定。

お問い合わせ先	総務省総合通信基盤局電波政策課第二計画係 電 話 : 03-5253-5875 (直通)
---------	---